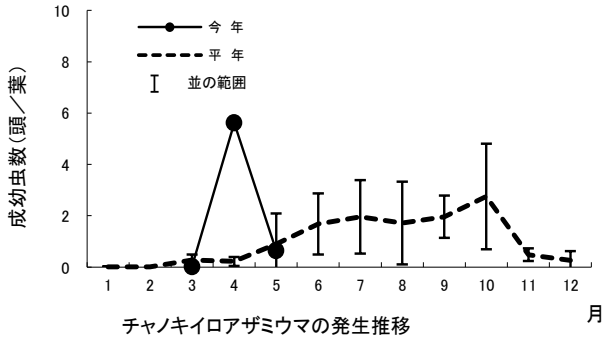
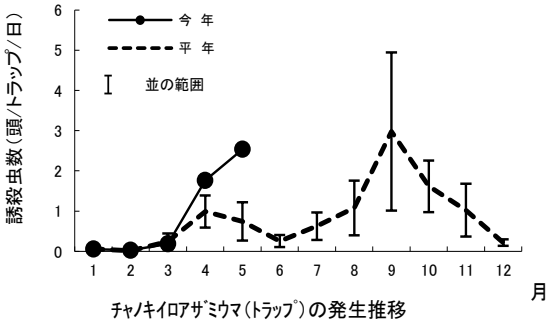
平成　30 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
5 月の発生量（現況）	並		
6 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、５月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）



チャノキイロアザミウマの発生推移



ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ(ﾄﾗｯﾌﾟ)の発生推移

- 調査地域：石垣市
- 新葉あたり成虫・幼虫数（頭/葉）：0.63（前年0、平年0.90、判定「並」）
- 黄色粘着トラップ誘殺虫数（頭/日）：2.5（前年0.1未満、平年0.7、判定「多」）
  ※一部施設で多発

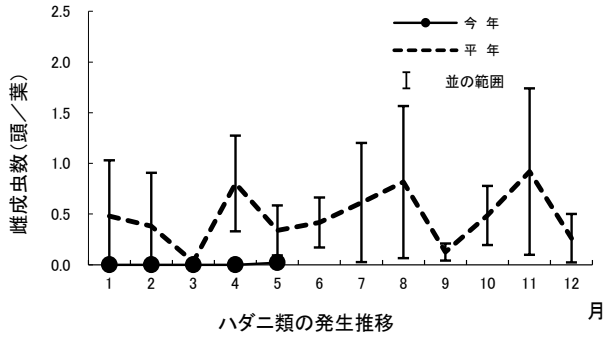
防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

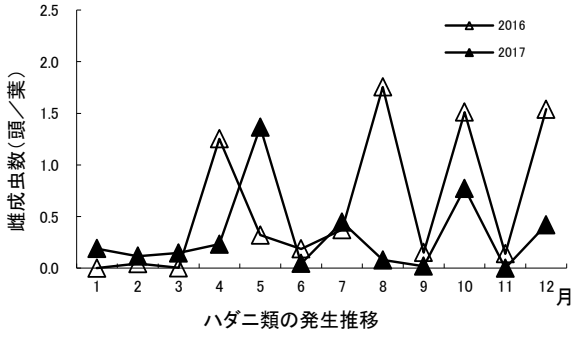
平成　30 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類		
5 月の発生量（現況）	やや少		
6 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、５月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）



ハダニ類の発生推移



ハダニ類の発生推移

- 調査地域：石垣市
- 成葉あたり雌成虫数（頭/葉）：0.1未満（前年1.4、平年0.3、判定「やや少」）
- 新葉あたり雌成虫数（頭/葉）：0.2（前年0.1）
- 発生種：シュレイツメハダニ

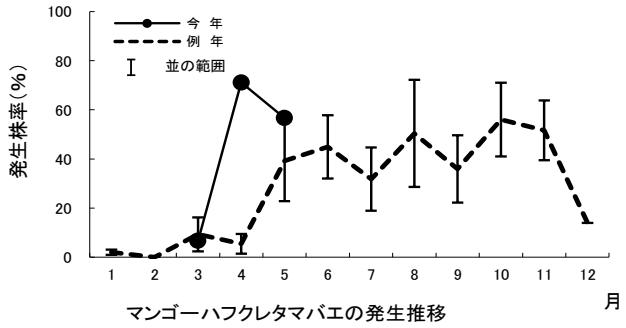
防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

平成　30 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	③ マンゴーハフクレタマバエ		
5 月の発生量（現況）	やや多		
6 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発生株率の例年の発生推移から、５月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・　調査地域：石垣市
・　発生株率（%）：56.7（前年76.7、例年39.2、判定「やや多」）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・不要な新梢は、ほ場外に密閉処分する。